天井埋込形電動給気シャッター

形　名

室内給気部材　**AT-150TQEWF**

メルコエアテック

据付・取扱説明書

この天井埋込形電動給気シャッターは気密性の高い建物で汚れた空気を排出するときに必要な新鮮な空気を取り入れるためのもので、レンジフードファンなどの換気扇に連動させて使用します。

■取付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり正しく安全に取付けてください。
■取付けは販売店・工事店様が実施してください。

取付け終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

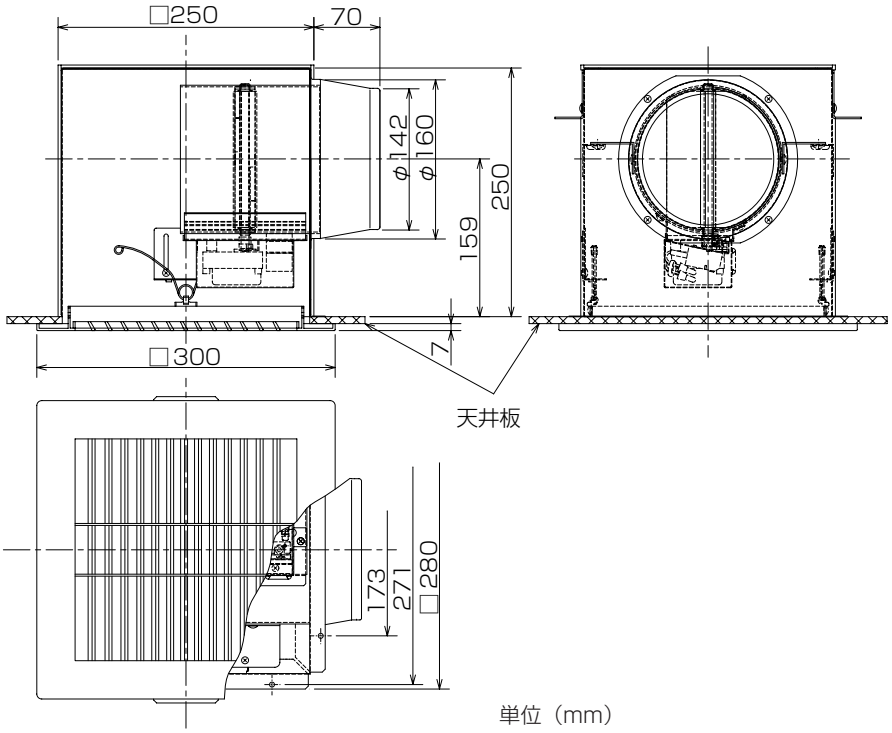
⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

取付時	指示に従い必ず行う	●**電動給気シャッターや金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける**〔電気設備の技術基準 解釈 第 167 条 3 項〕（接続されていると漏電した場合、発火することがあります） ●**漏電しゃ断器を取付ける**（故障や漏電のときショートや感電のおそれがあります） ●**火災警報器がある場合は、感知部から 1.5m 以上は離れたところに取付ける** ●**外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ**（一酸化炭素中毒をおこすおそれがあります）
取付時・使用時	指示に従い必ず行う	●**交流 100V を使用する**（直流や交流 200V を使用すると火災や感電の原因になります）
	水ぬれ禁止	●**製品を水につけたり、水をかけたりしない**（ショートや感電のおそれがあります）
	分解禁止	●**改造や必要以上の分解はしない**（火災・感電・けがの原因になります）
使用時	指示に従い必ず行う	●**お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る**（通電状態では感電やけがをすることがあります）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

取付時	禁止	●**直接災・油煙があたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所、高温（40℃以上）になる場所には取付けない**（火災のおそれがあります）
	風呂・シャワー室での使用禁止	●**浴室など湿気の多い場所には取付けない**（漏電および故障の原因となります）
	指示に従い必ず行う	●**本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う**（落下によりけがをすることがあります） ●**電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者である電気工事士が安全・確実に行う**（接続不良や誤った電気工事は感電や火災のおそれがあります） ●**本体の取付位置はガス機器の設備基準に従って炎の立ち消え等ガス機器への悪影響のない位置で室内が良く換気される位置とする**（炎の立ち消え等で一酸化炭素中毒を起こすことがあります）
取付時・使用時	指示に従い必ず行う	●**取付け、お手入れの際は手袋を着用する**（着用しないとけがをすることがあります） ●**部品の取付けは確実に行う**（落下によりけがをすることがあります）
使用時	禁止	●**本体に異常な振動が発生した場合は使用しない**（本体・部品の落下によりけがをすることがあります）
	指示に従い必ず行う	●**長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る**（絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります）

外形寸法図



単位（mm）

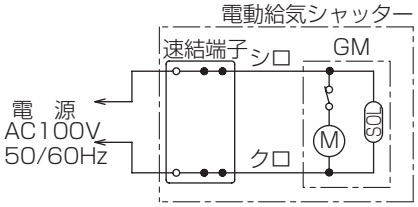
■付属部品

木ネジ……8本

■適用ダクト口径

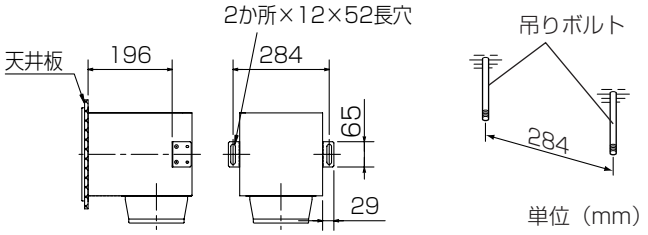
φ150

■本体結線図



取付方法

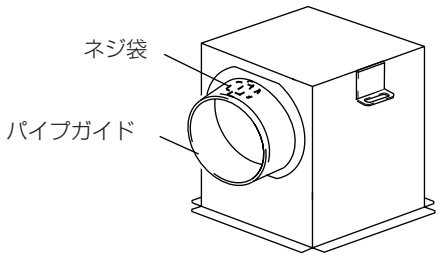
1. 取付前の準備



単位（mm）

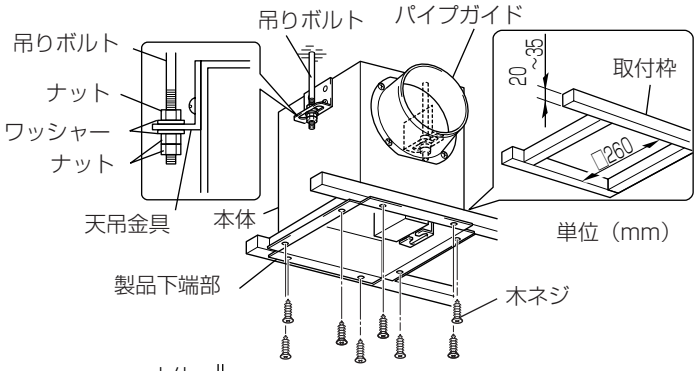
吊りボルトの埋め込み

左図の寸法で市販の吊りボルト(M8)を埋め込む。

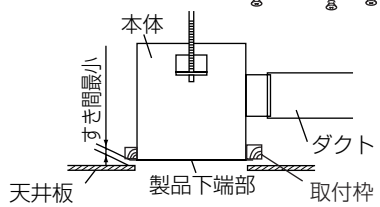


パイプガイドに止めてある付属部品(ネジ袋)をはずす。

2. 本体の取付け



単位（mm）



1.本体が水平になるよう吊りボルトに天吊金具を通し、市販のワッシャー・ナットで固定する。

2.製品の位置を調整する。
天井板の張付位置と製品下端部の吊り高さをすき間が最小となるように調整する。

お願い

- 天井板を張った後では上記調整が困難となるため、必ず事前に調整を行ってください。

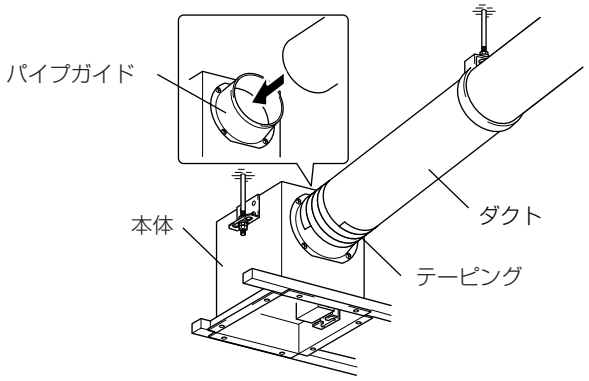
3.取付枠の内寸が左図の寸法（□260）となるように組み立てる。なお、取付枠の高さ寸法は 20～35mmとする。
（高すぎると本体から出ているネジにあたってしまいます）

4.付属の木ネジ（8本）で本体を確実に取付枠に取付ける。

お願い

- 本体が変形するような力が加わることがないようにしてください。

3. ダクト接続



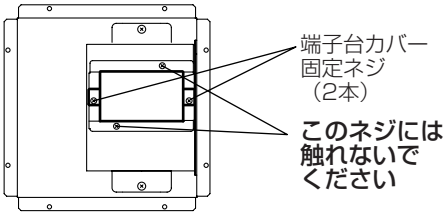
ダクトをパイプガイドに差し込んで風漏れのないよう市販のテープでテーピングする。

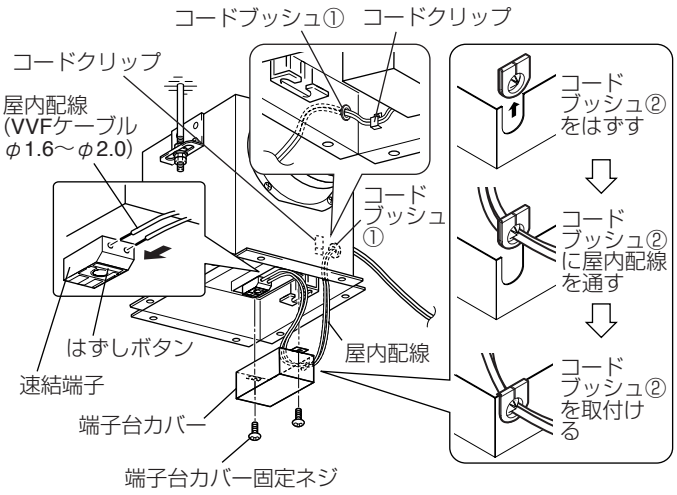
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊るす。
- ダクトは雨水の浸入を防ぐため、屋外に向けて1/30以上の下りこう配をつけてください。

お願い

- 結露のおそれのある場合は、ダクトに断熱材を巻いてください。

4. 電気工事





1.レンジフードファンやダクト用換気扇からの屋内配線をコードブッシュ①を通して本体内に引き込む。

2.端子台カバー固定ネジ2本をはずして端子台カバーをはずす。

お願い

- 端子台カバー固定ネジ以外のネジは**触れない**でください。（端子台カバー固定ネジ以外のネジに触れるとシャッター開・閉動作に支障がでます）

3.屋内配線(VVFケーブルφ1.6～φ2.0・皮むき長さ15mm)を速結端子に接続する。

- レンジフードファンなどの換気扇と連動する場合は結線図を参照して結線を行ってください。

4.軽く引っ張って抜けないことを確認する。

- 屋内配線を速結端子からはずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン(白色)を押しながら屋内配線を引っ張ってはずしてください。

5.余剰な屋内配線を元に戻す。

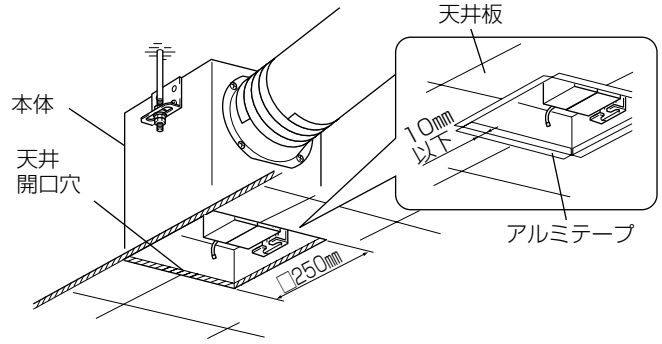
6.端子台カバーに付いているコードブッシュ②をはずし、コードブッシュ②に屋内配線を通す。

7.コードブッシュ②を移動させて端子台カバーに元通り取付け、端子台カバーをはずしたネジで固定する。

8.コードクリップをはずす。

9.屋内配線の外皮部分をコードクリップで固定する。

5. 天井板の張付け



1.本体フランジ部下端面に天井板を張る。

- 天井板は水平に取付けてください。
- 天井板の水平が確認されない場合、グリルとの間にすき間ができる原因となります。

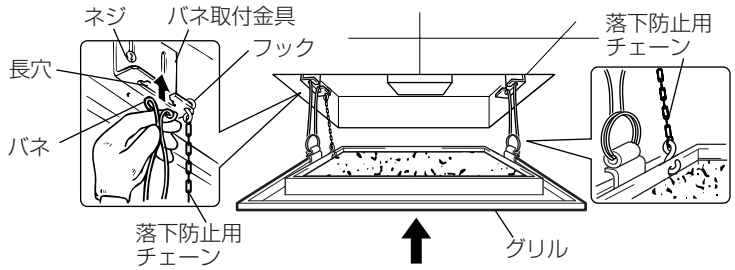
2.天井開口寸法は必ず□250mm±3を確保してください。

- 開口寸法が小さいとグリルが取付けられなくなります。
- 開口寸法が大きいとアルミテープがグリルからはみ出る原因となります。

3.天井開口穴と本体の位置を合わせアルミテープなどですき間をふさぐ。

- アルミテープの天井板部へのはみ出し寸法は 10mm以下としてください。アルミテープがグリルからはみ出る原因となります。

6. グリルの取付け



1.落下防止用チェーンのフックを本体に引っ掛ける。

2.バネを縮めるように持って長穴に差し込み、グリルを軽く押す。

- 天井材が厚いなど、バネが長穴に届きにくい場合はバネ取付金具のネジをゆるめて金具を下げてください。
- 金具を下げて調節した後は確実にネジを締め付けてください。

取付け後の確認

1.取付けが完了しましたら必ず試運転を実施してください。
　不具合がありましたら必ず直してください。
2.試運転：接続したレンジフードファンなどの換気扇の運転を開始すると、この天井埋込形電動給気シャッターが連動して開き、自然給気を行います。停止すると連動してシャッターを閉じます。

お手入れ

グリルやエアフィルターにほこりが付着すると風量低下や異常音発生の原因になります。
約1か月に１度を目安に清掃してください。

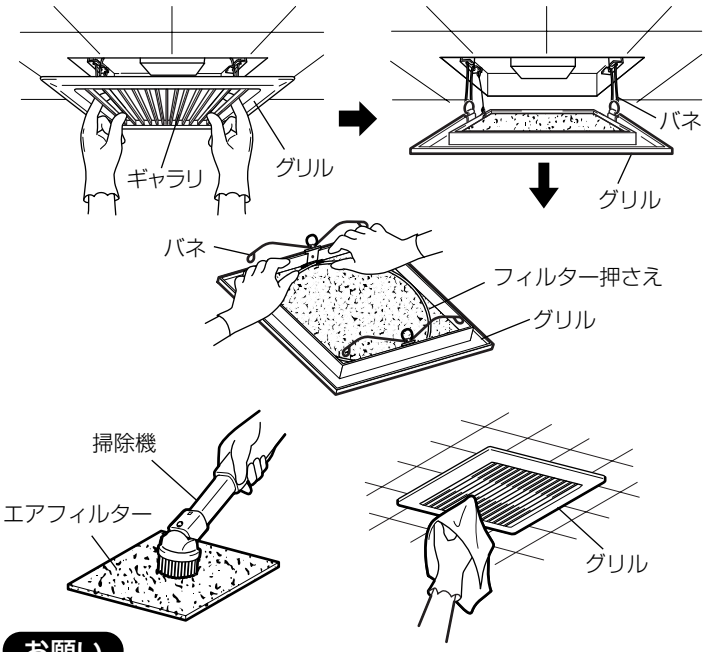
■お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱を行わないでください。

⚠警告

●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る
（通電状態では感電やけがをすることがあります）

⚠注意

●お手入れの際は手袋を着用する
（着用しないとけがをすることがあります）
●お手入れ後の部品の取付けは確実に行う
（落下によりけがをすることがあります）



1.ギャラリの左右端に人差し指をかけ、グリルを下げる。
（バネで止まる状態にする）
2.左右のバネを縮めた状態で長穴からはずす。
3.落下防止用チェーンのフックを本体からはずす。
4.グリル内面のフィルター押さえを取りはずす。続いてエアフィルターをグリルから取り出す。
5.エアフィルターの清掃をする。
　●軽く手でたたくか、または掃除機でほこりを吸い取る。
　●汚れのひどい場合(半年に１回を目安)は、水またはぬるま湯(40℃以下)に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。
　●水洗い回数5～6回を目安にシステム部材(別売)の交換用エアフィルターと交換する。
　　交換フィルター形名　AT-150TQEWF-F
6.清掃後、エアフィルターをグリルに取付ける。
　●フィルターはグリルに合わせ均等に置く。
　●フィルター押さえは先端部分がバネ取付金具の下側になるよう取付ける。
7.グリル表面の汚れを清掃する。
　●中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。
8.はずした手順と逆にグリルを取付ける。（上記3→2→1）

お願い

●フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
●フィルターを入れ忘れると壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。
●お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。
　シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等けんま材入の洗剤（変質・変色する原因になります）
●フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことはしないでください。
●交換用フィルターは、純正品をご使用ください。
　純正品は、下記にてお買い求めいただけます。

オンラインショップでのご注文

・PCの場合
　http://www.melcoairtec-shop.co.jp/
・携帯電話の場合は、右のQRコードからもアクセスできます
　http://www.melcoairtec-shop.co.jp/shop/m/Top

お電話でのご注文
・フリーダイヤル　0120-66-9893

アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店か下記の連絡先へご相談ください。
■補修用性能部品の保有期間
当社は、この電動給気シャッターの補修用性能部品を製造打切り後６年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社メルコエアテック
〒508-8691　岐阜県中津川市駒場526-2　フリーダイヤル TEL: 0120-66-9893　FAX: 0120-66-9895
ホームページアドレス: http://www.melcoairtec.co.jp/